

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	救急医療事業			会計	款	項	目	大	小
				01	04	01	03	02	01
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	健康増進課				
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	伊原 理香				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	休日・祝日及び年末年始の夜間の重傷病患者	意図	緊急の処置並びに対応の必要がある重傷病患者の医療体制を整える。
事業内容	休日・祝日・年末年始の午後6時から翌日午前8時まで、市内3病院が輪番制で救急患者の診療を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和63年4月より実施。 市内3病院が輪番制で診療を行う。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	利用者数	324	337	372	人	→→	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 事業の周知が浸透し、市民の急病に対応できるようになってきている。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,239,560	7,966,460	7,957,280				
事業費(b)(円)		6,787,760	7,554,560	7,554,560				
うち一般財源		6,787,760	7,554,560	7,554,560				
職員給与費(c)(円)		451,800	411,900	402,720				
人役・職員(人)		0.06	0.06	0.06				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	今後も救急医療体制を維持する必要があることから委託料等も含め、医師会・指定病院と協議を行う。	③取組の課題	救急医療体制を維持していく必要がある。
②今年度(H29)に実施した取組	本事業の維持のため単価の見直しについて協議を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	今後も救急医療体制を維持する必要があることから医師会・指定病院と連携を図る。